

まず、社会人として一人前に

医学部長 ◆ 調枝 寛治



医療を取りまく社会環境の変化に伴って、わが国の医学・保健・医療は転換期を迎え、最新・最高のものに加えて、最善の医療が求められている。めざましい発展を遂げつつある先端医療には、高い倫理性と深い人間性が欠けてはならない。

物は、単に物理的な物だけでなく、精神・心理的な負担も含めてのことである。他人よりも重い荷物を持つためには、日頃から自己抑制力を養っておかねばならない。朝は早く起きる（気力のいることで

病気という重荷を背負った人のためにと、医療の専門家を目ざして医学部に入学した諸君には、何はともあれ、まず、社会人として一人前になってほしい。

一人前とはどういうことか、人それぞれに一人前についての規範があるが、例えば、「重い物と軽い物があったら率先して重い方をもつこと、そういう人間になることが一人前」とガラス工芸の仕事を選んだ青年が答えたとき、天声人語（昭和五十八年一月）に紹介されている。



噴水と医学部附属病院

将来の大成を期して、重い物を持つる体力を養い、人間としての幅を広げるために、あらゆることを経験してほしい。

（ちょうし・かんじ）

世界に一人の自分
理学部学生 ◆ 佐竹 敦司



入学おめでとう。今や皆さんには多くの自由が得られます。大学では高校生活、受験生活よりもはるかにたくさん時間が自分の自由となります。目の前に敷かれたルールも終わり、行きたい方向に進むことができます。

しかしその結果、迷路に迷い込むことにもなりかねません。なにしろ、大学は大人

夏休みの入り口にたつ諸君へ

医学部学生 ◆ 池森 功



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。夢膨らむ新しい生活へはもう慣れましたか？ 授業、クラブ活動などを通じて、人間関係、行動範囲も広がり、アルバイト、コンパ、PCと楽しくも忙しい生活に突入していくことでしょうか。

その充実した忙しさの中に完全に埋没してしまう前に、ぜひ、この大学生生活を、どのように過ごそうかと考える時間を持つてみてください。

ほくは、大学生活はある意味で、人生における夏休みのようなものではないかと思っています。多くの人が手厚い親の庇護下にある十数年と、自分で生きてゆく数十

の社会ですから、多くの場面で、自分自身の責任と処理能力を要求されることでしょう。時には、自分の手に余る問題を背負込んでしまい、いきづまり、毎日がいやになることもあります。こんなとき他人を頼ってしまいがちですが、大切なのは自分で考えることだと思います。

他人のやるとおり、マニュアルどおりでは、いつのまにか自分の価値を見失ってしまふことでしょう。他人にはない自分の考え、自分のやり方、自分の経験……

せつかくの自由ですから自分だけの使い方をしてみようではありませんか。四年間の大学生活で、世界に一人しかない自分を見つけてください。（さだけ・あつし）

年の間にある、自立をめざし自分を磨くことができる貴重な夏休みではないかと。君たちは、今その夏休みの入り口にいます。この夏休みを、想像力豊かに、自分のビジョンを持って過ごしてください。趣味やクラブ活動をじっくりやるチャンスです。新たな境地を開拓するのも、今をおいてないでしょう。

大学で学ぶことは、将来の自立へ向けての第一歩であると同時に、人生を豊かにしてくれ得る教養ともなるものだと思います。これから始まる数年間を、一生の思い出に残る、充実した、素敵な「夏休み」にしてください。

（いけもり・いさお）

